

おごせ 教育 Pick Up



越生小学校

交通安全教室で、1年生が「右見て、左見て、もう一度右見て」と交通指導員さんの合図で、横断の練習をしました。

梅園小学校

入学式では、11人の新入生を迎え、全校60人でスタートしました。今年も原稿を見ないでみんなの前で堂々と自分の考えを発表できるように、みんな頑張っています。



越生中学校

越生中学校では、今年度85人の新入生が入学しました。はじめは緊張していましたが、元気よく返事をする声が体育館いっぱいに響き、立派な式となりました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子どもたちを写真で紹介するコーナーです。

ズームイン教育240

二学期制と土曜日 授業の今後の継続

越生町教育委員会

○二学期制導入の経緯

平成20年3月に学習指導要領改訂の告示があり、教科の時間数が増加されました。増加に伴い、1週間の授業時間が増加し6時間の日が多くなりました。そのため、委員会活動や学校行事の準備、部活動の時間などの短縮、冬の日没時刻の早まりによる下校の安全面など、多くの課題が予想されました。これらの課題を解決するため、越生町では、平成19年度から授業時数を多く確保できる二学期制を導入しました。

○導入への配慮事項

二学期制を導入するにあたり、「学期の決定は、校長が教育委員会の承認を得て決めることができる」と規則に定め、次のことに配慮しました。

▼各教科の授業時数を学習指導要領が示す時間数以上を確保し、学力向上を図る。

▼今まで実施している学校行

○土曜日授業の実施

土曜日授業は平成23年度から実施しました。公立小中学校では例がなく、全国でも先駆的な取組でした。現在は、小中学校が同一日に、年9回実施しています。二学期制と合わせて授業時数の確保に成果を上げていきます。

○今後の継続

今年3月に新しい学習指導要領が告示されました。今回の特色は、小学3年生から外国語活動（英語）が教科として導入されます。平成20年3月の改訂よりさらに一週間の時間数が一時間増加することになります。越生町は、導入時の趣旨を生かし、今までの二学期制と土曜日授業を継続することで、来年度から移行される新しい学習指導要領に対応してまいります。

▼長期休業への対応として、休業前の個別面談や夏休み前成績表により、目標を持って長期休業を過ごすことができるようにする。また、小中学校の実態に応じて様々な取組（サマースクール・ウインタースクール・夏休み明けテスト・冬休み明けテストなど）をする。

事は減らさず、体験活動を重視する。準備等の過程を大切にした教育活動を行う。

越生浪漫

No.100

越生町再発見
100ポイント整備事業



①文化財解説板に取付 (99越生梅林) ○印が銘板位置

埼玉県ふるさと創造資金活用事業・ハイキングの町整備事業の一環として行われた、「越生町再発見100ポイント」標柱64本の建替工事が完了しました。次の36か所については、既設の解説板や標柱などに、共通した様式の100ポイント銘板を取り付けました。



②ふるさと歩道看板に取付 (13法恩寺)

① 平成26・27年度に設置した文化財解説板や標柱に、銘板を取付したポイント16か所 (2岡崎薬師、7越生絹市場跡、8越生町道路元標、14上台遺跡、22大宮神社、26如意輪観音堂、27春日神社、51比丘尼橋橋供養馬頭尊、61津久根八幡神社、65梅園神社、67建康寺、75大平山の役行者像、80渋沢平九郎自決の地、82太田道灌公の墓、86龍ヶ谷熊野神社、99越生梅林)



左:③大型解説板に取付 (94上谷の大クスノキ)、右:④A3解説板 (48古帳庵句碑)

② ふるさと歩道看板に銘板を取付したポイント12か所 (3越生神社、4正法寺、5世界無名戦士の墓、13法恩寺、31山吹の里、49弘法山観世音、53五大尊、69自然休養村センター、78黒山三滝、81全洞院、88龍穩寺、100最勝寺)

③ 秋の七草めぐりなどの大型解説板に銘板を取付したポイント4か所 (23虚空蔵尊、32龍台寺、33大谷ヶ原、94上谷の大クスノキ)

④ 銘板の様式と文章を印刷したA3サイズ解説板3か所 (16川村碩布句碑、48古帳庵句碑、62梅林三叉路の道標石仏群)

⑤ 9のOTICは正面玄関に取付しています。

た文化財解説板や標柱に、銘板を取付したポイント16か所 (2岡崎薬師、7越生絹市場跡、8越生町道路元標、14上台遺跡、22大宮神社、26如意輪観音堂、27春日神社、51比丘尼橋橋供養馬頭尊、61津久根八幡神社、65梅園神社、67建康寺、75大平山の役行者像、80渋沢平九郎自決の地、82太田道灌公の墓、86龍ヶ谷熊野神社、99越生梅林)

型解説板に銘板を取付したポイント4か所 (23虚空蔵尊、32龍台寺、33大谷ヶ原、94上谷の大クスノキ)

銘板の様式と文章を印刷したA3サイズ解説板3か所 (16川村碩布句碑、48古帳庵句碑、62梅林三叉路の道標石仏群)

9のOTICは正面玄関に取付しています。

越生町の自然、歴史や人物などを紹介してきた「越生浪漫」も今号で100回となりました。これからも誇るべき郷土の魅力を再発見できるような、新鮮な話題を取り上げていきたいと思えます。

おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.61

キアゲハ

「チョウ目 アゲハチョウ科」

キアゲハの名称は、黄色いアゲハチョウの意味です。普通のアゲハ(ナミアゲハとも呼ぶ)とよく似ているため、飛翔中の判別は困難です。しかし、幼虫の食草は異なり、黒いアゲハ類も含めた多くのアゲハの仲間がミカン、サンショウなどのミカン科を食べるのに対し、キアゲハはセリ科のセリ・ニンジン・パセリ・アシタバなどを食べます◆幼虫は5回の脱皮を経て「さなぎ」になります。若齢は暗黒褐色で背面中央に灰白色斑があります。4齢は緑、黒、橙色の三色となり、5齢は鮮やかな縞模様です。触ると強烈な臭いを出すオレンジ色の角を出します。我が家では、毎年秋になるとアシタバに大量の幼虫が発生し、葉を食べ

尽くします。その後、蛹化場所を求めて木や塀・壁などに移動して蛹になり、冬を越します◆成虫は年3〜4回発生し、4〜5月に見られる個体は小型で明るく鮮やかな春型、7〜9月は大型で黒色部が多い夏型が出現します。分布は日本では屋久島以北、国外では北アメリカ北部・ヨーロッパ・アジアの北半球の寒帯〜温帯です◆明るい草原、堤防、畑地、庭を好んで飛びます。草原性の山頂などでは、オスが占有行動を行い、縄張りに侵入したチョウを追いかけます。5月の晴れた日、水際のセリなどに産卵するアゲハに遭遇したら、それはキアゲハです。(阿部 功)



▲ツツジの花に飛来したキアゲハ成虫と5齢幼虫